成田空港の年間発着枠が30万回に
四者協議会で正式合意

成田空港での航空機の年間発着回数の上限が、現行の22万回から将来30万回まで拡大されることになり、これに伴って飛行ルートの一部も変更されることになりました。

成田空港の発着枠の拡大については、すでに昨年の12月に開催された四者協議会（国、県、空港周辺自治体、成田国際空港株式会社）の席上で、『地域住民に丁寧な説明を行うこと。』を条件に、年間発着枠30万回への容量拡大に取り組むことが基本的に了承されていました。

このようなことから、空港周辺の各自治体では、地域住民の皆さんの理解を求めるため「成田空港の発着枠拡大に伴う住民説明会」などを実施してきたところであり、当町においても6月下旬から7月下旬にかけ、国や県、成田国際空港株式会社の担当者を招き、町内4会場で説明会を実施しました。

その後、町議会での協議や周辺市町の首長会議などを経て、10月13日に開催された四者協議会において、「成田空港の発着枠30万回」の容量拡大が『十分な周辺対策を実施する』ことを条件に正式合意されました。

これらについては、すでにテレビ・新聞等でも報道されていますが、これに伴って飛行ルートの一部変更も行われることになっており、混雑時（午前は9時台～12時台、午後は17時台～19時台）に限り、1時間当たり15機程度が上空6千フィート（約1800メートル）で、Aランは右旋回、Bランは左旋回することが想定されています。

成田空港があることによって、騒音などの負の部分も多くありますが、公共施設の維持管理費や道路改良整備事業費、消防施設整備事業費など多くの町事業に成田空港からの交付金が使われています。また、空港関連企業などに勤務する町民のみなさんも数多く、雇用の面からみても成田空港は当町にとって無くてはならない貴重な存在となっています。

町としては、住民説明会などでのご意見・ご要望等を真摯に受け止め、騒音対策をはじめとした環境対策面などを国や県、空港会社に強く要望してまいるとともに、今まで以上に周辺対策事業を実施してまいります。

今後も、成田国際空港の国際競争力の強化と空港の発展にあわせ、空港周辺市町が一致協力して「空港との共生・共栄」を目指してまいりますので、町民のみなさんのご理解とご協力をお願いします。

住民説明会の概要は、町ホームページに掲載していますが、詳しい質疑・応答の内容が必要な方は、空港対策室までご連絡ください。

◆問い合わせ
企画財政課空港対策室
☎(84)1279

横芝光町くらしの便利帳
来年5月に配布予定

町の窓口業務や公共施設案内など、日常生活に役立つ情報を一冊にまとめた「横芝光町くらしの便利帳」を（株）サイネックスと共同で発行します。

町の財政負担はゼロ

便利帳発行にかかるすべての経費は広告収入で賄われるため、町の負担は一切ありません。

この便利帳は全戸配布されます。そのため広告主には高い広告効果が得られ、地域経済の活性化にもつながります。

広告の掲載にご協力を

今年12月から、便利帳に掲載する広告を募集するため、サイネックスの営業担当者が町の町章が入った名刺を持参し、町内の商店や事業所を訪問させていただきますので、ご協力をお願いします。

※広告の掲載については、サイネックス成田支店まで直接お問い合わせください。

※広告料の先払い要求などは、絶対にありません。悪質な詐欺行為にご注意ください。

◆問い合わせ
●便利帳に関すること
総務課秘書広報班
☎(84)1211
●広告掲載に関すること
(株)サイネックス成田支店
☎0476(23)6140